

「市民アンケート調査」の結果報告

問い合わせ 行政経営課 ☎382005

芦屋は「住みよい」9割・住み続けたい「8割

地域の住みよさについて質問したところ、かなり住みよいとどちらかといえば住みよいらしいと回答グラフ1)したが、87.7%に達しました。この数字は前回調査平成十六年度実施の82.2%を上回っています。

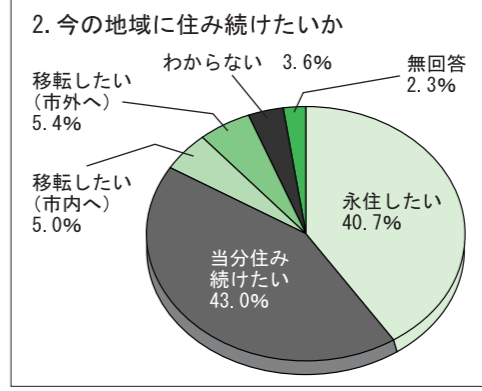
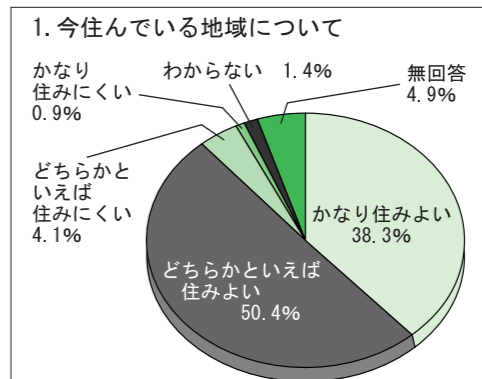
また、今の住まいに永住したい「当分住み続けたい」とした回答グラフ2)は、83.7%でした。この数字は、前回調査の79.6%を上回っています。住み続けたい理由としては、交通

が便利46.6%、豊かな自然環境に恵まれて40.2%という回答(表3)が上位を占めています。

半数以上の市民が「地域活動」に意欲

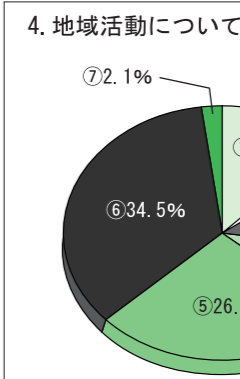
【調査方法】
■対象地域 市全域
■調査対象 住民基本台帳登録者から階層別無作為抽出した市内在住の20歳以上の市民3,000人
■調査方法 郵送方式
■調査期間 平成20年10月7日～24日
■回収結果 回収数1,811票・回収率60.7%

※今回の回収率は、過去の総合計画時の調査よりも、高率を示しています。



3.「住み続けたい理由」・「移転したい理由」で回答が多かった項目

順位	住み続けたい理由	割合 (%)	順位	移転したい理由	割合 (%)
1	交通が便利	46.6	1	買い物や医療など日常生活に不便	31.4
2	豊かな自然環境に恵まれている	40.2	2	物価や住居費の負担が大きい	30.9
3	地域イメージが良い	32.9	3	交通が不便	29.3
4	住宅事情や住宅環境が良い	29.7	4	住宅事情や住宅環境が悪い	23.4
5	長年住み慣れている	29.3	5	衛生環境が悪い・近隣公害がある	9.0



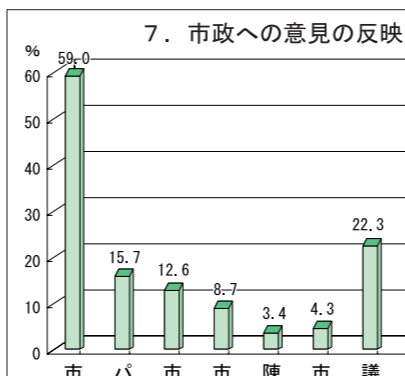
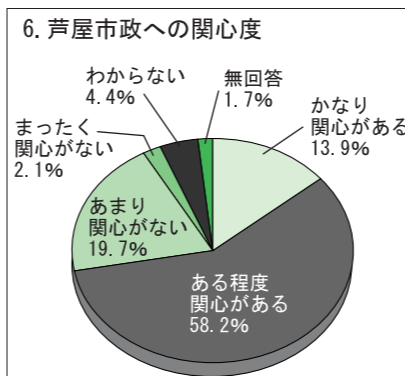
【上記グラフの①～⑦は、次のとおりです】
①現在参加しており、今後も参加したい
②現在参加しているが、今後は参加したくない
③以前参加したことがあり、今後も参加したい
④以前参加したことがあるが、今後は参加したくない
⑤これまで参加したことはないが、今後は参加したい
⑥これまで参加したことがなく、今後も参加したくない
⑦無回答

70%を超える市民が「市政」に関心

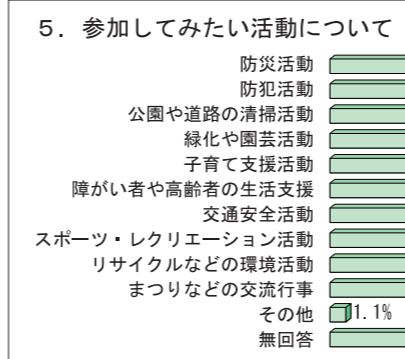
「芦屋市政への関心は、かなり関心がある」と回答グラフ6)のかたが、72.1%となっています。

意見の反映については、市が実施するアンケート調査で回答したい

平成13年度にスタートした「第3次芦屋市総合計画」は、今年で9年目を迎えています。市民生活やまちづくりについて、市民の皆さんの意識や関心等をお聞きした「市民アンケート調査」の結果がまとまりましたので、その概要をお知らせします。この結果は、平成23年度からの新しい総合計画「第4次総合計画」の策定作業の中で、参考にしていきます。



が最も多く、議員や専門家に任せる、パブリックコメント・上行政計画等を策定する過程での市民の意見募集)があれば意見を述べたいなどの回答グラフ7)が続いています。



生涯学習出前講座をご活用ください

市が行っている仕事で、皆さんがわかりにくいことや聞きたいこと、また暮らしに役立つ話や実技などを、市職員が皆さんの希望される場所へ出向き説明します。市内在住・在勤・在学者で構成する20人以上の団体やグループでメニューを選び、申し込んでください。開催日 12月25日～1月15日を除く毎日 時間 午前9時～午後9時まで・90分以内 会場 学習会の主催者が市内に確保(会場は市内に限る) 申し込み 講座開催予定日の1カ月前までに上記へ(講師料は不要です) *業務の都合により、日時などでご希望に沿えない場合もあります。【出前講座メニュー】※下記以外に「特別メニュー」あり。ご希望の学習内容をご相談ください。

1	防災・減災について	防災安全課
2	交通安全について	
3	防犯対策について	
4	国民保護について	
5	芦屋市の国際交流について	市民参画課
6	男女共同参画社会を目指して	
7	財政状況について	財政課
8	行政改革について	行政経営課
9	ストップザ・悪質商法	経済課
10	国民健康保険について	保険医療助成課
11	長寿医療制度(後期高齢者医療制度)について	
12	人権について	上宮川文化センター
13	児童センター事業の概要	
14	芦屋市の環境について	環境課
15	地球環境問題について	
16	ごみの出し方	環境処理センター
17	芦屋市の廃棄物処理について	
18	芦屋の下水道	下水道課・下水処理場
19	住民がつくる都市計画(地区計画)について	都市計画課
20	住宅の耐震診断と耐震改修の助成について	建築指導課
21	芦屋市の子育て支援について	
22	食育について	こども課
23	子育てセンター事業について	
24	芦屋市の保育について	
25	芦屋市の水道	水道部
26	応急手当講習	
27	救命講習	
28	防火講座	消防本部
29	消火訓練	
30	消防署見学	
31	芦屋市地域福祉計画について	地域福祉課
32	高齢者の介護予防について	
33	介護保険制度の概要	高年福祉課
34	芦屋すこやか長寿プラン21	
35	乳幼児期の健康講座	
36	幼児期の健康講座1(簡単手づくりおやつ)	健康課
37	幼児期の健康講座2(こどものしつけ方)	
38	新型インフルエンザの予防と対策	
39	中高年の健康講座1(更年期の過ごし方・骨粗しょう症予防)	
40	中高年の健康講座2(メタボリックシンドロームを解消しよう)	
41	禁煙支援講座	
42	体力づくり、ニュースポーツ・実技	スポーツ・青少年課
43	幼児教育	
44	特別支援教育	
45	国際理解教育	学校教育課
46	学校図書館教育	
47	進路指導	
48	生涯学習とコミスク・校庭開放	生涯学習課
49	文化財講座	
50	文化財めぐり	
51	愛護活動について	青少年愛護センター
52	公民館の事業	公民館
53	絵本の読み聞かせについて	
54	みんなの図書館	図書館
55	インターネットで本を探そう	

伝統芸能「人形芝居」で

頼田 稔



撮影・桑田敬司(ハナヤ勤兵衛)

お母さんたちとやり始めたのは、昭和六十一年に県立武庫工業高等学校(現武庫荘総合高等学校)に赴任してからです。

私が、「人形劇」を生徒やPTAのお母さんたちとやり始めたのは、昭和六十一年に県立武庫工業高等学校(現武庫荘総合高等学校)に赴任してからです。

もともと、人の成長について、学校教育と社会教育の融合を図ることにしたのです。

ことになんていません。これはえびす様が鳴尾の海から西宮神社にお越しくなるといふ由來に発した祭りです。その道中、居眠りされたたえびす様のお尻をつわり、起こしたという意味もあるそうです。開館して一年近くになりますが、この間、実に多くの出会いに恵まれてきました。

今年三月には、地域の人形劇団体が共同制作した西宮の民話逆頭大王を浜脇小学校で発表し、同時に文楽鑑賞・体験教室を開催しました。こうした活動は、地域の文化の活性化を促し、人々を元気にしてくれる大切な活動であると思います。

●頼田 稔よりたのみの氏
昭和十九年、鳥取県米子市生まれ。毎年八月初旬にシッコロシアターで「人形劇 エスタ阪神」を二月第一土曜日には「人形劇 フェスタ芦屋」を本市で開催。また、今年一月神戸新聞論上で「人形芝居まちおし」発表。現在、成座人形芝居館館長。

問い合わせ 市民センター ☎31-4995

成長しました。私は、親の自主活動

「人形劇」を通じて、有用な自己発見を追求したので。

その日が、「おこしや祭り」だとい

「経済センサス基礎調査」にご協力ください

調査対象となっている事業所・企業の皆さんの、ご協力をお願いします。

ルナ・ファミリー・ミュージカル「シンデレラ」
心に広がる「愛と幸せ」の物語
美しい音楽とバレエで
子どもから大人まで楽しめる
本格的なミュージカルを再現
(チケット発売中！)
日時 8月16日(日)午後2時～4時(午後1時30分開場) 会場 ルナホール
出演 原幹恵(シンデレラ)/水沢アキ(魔法使い)/滝川英治(王子)ほか
指定券 一般3,000円、中学生以下1,500円 当日券500円増し チケット発売所 市民センター事務所・グリル業平・市役所売店・ローンチケット(Lコード55352)

人権講演会「共に生きること、学び合うこと」～人権としての居場所づくり～

■日時 6月24日(水)午前10時30分～11時50分
■会場 新消防庁舎3階多目的ホール
■講師 大阪市立大学名誉教授・桂正孝氏
■申し込み 当日、直接会場へ
■託児 なし
■その他 手話通訳・要約筆記あり
※新型インフルエンザの発生により延期となっていた催しを、上記のとおり実施します。



桂正孝氏

問い合わせ 芦屋市人権推進協議会 ☎38-2091(生涯学習課内)

芦屋うるわし～博物館の底力～

【展示解説】約30分間
■日時 6月27日(土)午後2時～
■会場 展示会場
■解説 本館学芸員
■費用 要観覧料
【展覧会】4月11日～6月28日
芦屋うるわし～博物館の底力～
■観覧料 一般300(240)円、大高生200(160)円、中学生以下無料
*()内は、20人以上の団体料金
*同時開催中の展覧会観覧料も含む
《同時開催：コレクション展1 芦屋1920～30年代》



洛中洛外図(部分)

芦屋市展「わたしと芦屋」 作品募集

昭和23年に第1回展が開催されて以来、本展は今年で第60回目となりました。市民をはじめ、本市に思い入れのある人なら誰でも応募できます。市民に親しみを持っていただける市展を目指し、会期中には来場者の投票で選ぶ賞も設けます。
■会期 7月11日～8月9日 月曜日休館 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで) ■部門 平面：油彩画、水彩画、日本画、版画/立体：彫塑、インスタレーション、パフォーマンス/写真
■搬入 7月5日(日)午前10時～午後3時 昼休み
正午～午後1時を除く) *委託搬入は、当日、業者が出品者を代行する形でのみ受け付け ■出品料 1部目1,000円 ■審査員 森茂子(画家・二科会会員)/米澤光治(画家・創元会会員)/今井祝雄(造形作家・成安造形大学造形表現群教授)/持田総寛(美術家・大阪芸術大学名誉教授)/楓大介(写真家・大阪電気通信大学総合情報学部教授)/金澤徹(写真家・成安造形大学ビジュアルメディア群准教授) ■賞 芦屋市長賞、芦屋市議会議長賞、美術博物館奨励賞ほか寄託賞多数、わたしと芦屋賞
*募集規定等詳細は、「要項」でご確認ください。

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432